報道関係者各位

2025年6月18日

株式会社東急イーライフデザイン

## グランクレール芝浦ケアレジデンスが 「第 24 回日本自立支援介護・パワーリハ学術大会」にて発表 ~歩行特化型リハビリによる改善事例を学会発表~

株式会社東急イーライフデザイン(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:大柴 信吾、以下「当社」)が運営する「グランクレール芝浦ケアレジデンス」は、2025年6月7日(土)・8日(日)に開催された「第24回日本自立支援介護・パワーリハ学術大会」(主催:一般社団法人日本自立支援介護・パワーリハ学会)において、「自分の足で歩いてやりたいこと」の実現を目指し、歩行特化型リハビリの導入による歩行・活動量の強化および改善事例について発表いたしました。



学術大会にて発表するグランクレール芝浦ケアレジデンス 機能訓練指導員の江波戸

## ■ 登壇概要

★会名:第24回日本自立支援介護・パワーリハ学術大会主催:一般社団法人日本自立支援介護・パワーリハ学会

開催日:2025年6月7日(土)~6月8日(日)会場 :タワーホール船堀(東京都江戸川区)

● 登壇日:2025年6月8日(日)

● **登壇者**:グランクレール芝浦ケアレジデンス 江波戸 寿樹

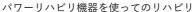
● 演題 :「自分の足で歩いてやりたいこと | の実現を目指し、歩行・活動量の強化

● 講演概要

2024 年 8 月 1 日より導入した歩行特化型リハビリサービスの成果について、ご入居者の介護度改善事例を交えて報告しました。週 2 回(※)、 $1\sim1.5$  時間にわたるパワーリハビリ・P ウォーク(転倒防止装置トレッドミル)での歩行訓練・体操を継続的に実施した結果、2025 年 1 月までの 6 か月間で歩行能力・歩行時バランス・活動量の平均値で向上している傾向が見られました。有料老人ホームにおいて、定期的な運動介入のサービスを導入することで、身体機能へ好影響をもたらす可能性が示唆されました。

※新規ご入居者は、入居後3か月間限定で调5回実施







転倒防止装置トレッドミル「P ウォーク」での歩行訓練

## ■ 今後の展望

当社では、今後もご入居者の「自分らしい暮らし」の実現を目指し、科学的エビデンスに基づいたリハビリ・介護手法の導入と実践に取り組んでまいります。また、社内外への積極的な情報発信を通じて、超高齢社会における新たな暮らしの価値創造に貢献していきます。

## ■ グランクレール芝浦ケアレジデンス 施設概要

名 称: グランクレール芝浦ケアレジデンス 所 在 地: 東京都港区芝浦四丁目 18 番 25 号

交 通:JR 京浜東北線・山手線「田町」駅芝浦口

(東口) より徒歩 13 分(約 1,000m)

土地・建物の権利機:土地:事業者非所有・建物:賃借

総室数:88室

専有面積:18.82 ㎡(1R)

類 型:介護付有料老人ホーム(一般型(介護予防)

特定施設入居者生活介護)

事 業 主:株式会社東急イーライフデザイン

開 業:2020年7月 居住の利用形態:利用権方式

利用料の支払い方式:選択方式(前払方式、月払方式)

入居時の要件:入居時要支援・要介護、満65歳以上

介護保険:東京都指定(介護予防)特定施設入居者生活介護(一般型)

介護に関わる職員体制:2:1以上居室区分:定員1人

公式サイト: https://www.grancreer.com/shibaura-care/



<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社東急イーライフデザイン 総務人事統括部 人財開発室

広報担当 青野

TEL: 03-6455-1236

メール: <u>teld-pr@e-life-design.co.jp</u> URL: https://www.e-life-design.co.jp/